

令和5年度の実証実験

実験内容

自動運転移動サービスの車両選定を行うため、これまでとは異なる車両（ミニバスタイプ）を、田原管内で走行させ、走行性等の検証を実施する。



出典: 名古屋大学ホームページ

図. 車両イメージ

検証事項

検証事項		調査方法	備考
走行性	登坂能力	田原台9丁目付近の登坂を走行 (最大定員で確認)	2日間実施
	航続距離	1周あたりのバッテリー消費量 (最大定員で確認、エアコンON/OFF時)	2日間実施
快適性	車内の温度、湿度	温湿度計による評価	—
	乗り心地	モニタアンケート (体感温度等の乗り心地) (可能であればヤマハカートに乗車した人にも依頼)	モニタ協力依頼 (○日間実施)
	運転のしやすさ	ドライバーアンケート (可能であればヤマハカートを運転した人にも依頼)	モニタ協力依頼 (○日間実施)

令和5年度の実証実験

実験ルート(案)

昨年度の実験ルートを基に、令和5年度は緑風台付近も実験ルートに含める。また、登坂能力の検証は田原台9丁目付近の登坂を対象箇所とする。

